

連日 の 新聞 を 見 て

内外重大なる政局、中間内閣説
閣内不統一、安達内相の行動



△ 印刷所 大和田貞 每日新聞社 印刷人
大和田貞 滝行所 穂城ノ賀美社
金五錢郵票共付
半分一圓 廿錢
價高料一圓三十錢
但取料一圓廿錢
指增廿錢
不取高料而帶金
大和田貞
新嘉坡六號

らず安達内相が加へら
ことである、憲政當道の安達内相が、ほん
像も出來得ない時代錯誤
中間内閣又は聯立内閣の主役に加へられたこ
朝野共に全く意外とす
ころであつた、そこに

れた支外交の強硬論を吐いていた。論者たる筆は、これは忽ち軍部の共鳴であり、將來政府の考慮處となり、將來政府の重責だとして内治外交の重責だ。誤の運動ふ適任者は安達一人であるとの聲さあつた。

三國の干涉を排しあくま
日本独自の解決案で時局
收拾すべきではあるまい

でが幾度あつたか判らぬ、外
をかるに其都度頗りで通し所
として恥す今尙政權に戀ぐ
たるザマは政客の行くへよ
途でない、それを見て糾理
しない國民がお芽出で過ぎ
る。此處に乘じ甘い汁を吸

來年暦
暦が出来年、昭和七年の
出ました皇紀
二千五百九十二年
西暦一千九百三十
二年干支は壬申で
すさて暦を開いて
お勤人の一番氣に
なる日曜と祭日との振替

善處すべき是國政內閣をして、軍部と密接な將來の關係を有する宇垣大將を擁立せんとする策謀がわづかに立には宇垣大將と同郷の半沼樞府副議長の統裁する國本社と、軍閥の一部が狂奔し、恰も伊太利に於ける如きソシテニ式舉國一致内閣を現してゐる。△

（） ◇

していが、與黨方面にも軍事として何等意見はないが如くして、政局遂には公然菅原外相を起用する聲といなくなつた。強硬論に共鳴する者が多いため、閣僚の多くを講軍部の主張に盲従する時局儀なくされた、安達内閣は、行政院として他の閣僚は、行政院にて、局部分的にあくせくと除く他の閣僚は、行政院にて、局部分的にあくせくと内閣時局を收拾する總理たるに、明年度豫算編成に追従して、局部分的にあくせくと統一の事實は現實にさるに若柳首相もこの重きも出された、かく政府の立場をあげて不安の色に包折も折、前記の如き新設立運動が進められたが、その成否は問題外でも、現内閣存立を

財政整理案に對し或は外交問題に關して軍部と外交との意見の對立に政局に大なる危機を孕みつゝある。然り而して現任の政黨内閣では支那問題解消は極東なしとあって宇垣は専ら組合せ急場を立てても組合せ急場を立てては居ない。然るに内閣は三、四年間超黨派的の獨裁政治を行ひ此間兩政黨が既に主張してゐるが事實だけは政見もないのが事實だ。内閣は大半の者は間にあつて今日の政黨を離れてゐる。土重來の舞臺に立つよりに途があるまい今までに内閣は大に違つてゐる。

民政黨は前述の通りとして政友會又然りである元來來の面行養總裁を据へたのは床次、鈴木兩頭目の頭を押へるゝ積であつたらうが、犬養も押へるゝよりか民政に近い人だ。
由來現在の政黨なるのは選舉にのみ政黨で大政黨が競つて黨勢の擴張する意見は元々政友會の主張よりか民政に近い人だ。
由來現在の政黨なるのは選舉にのみ政黨で大政黨が競つて黨勢の擴張する意見は元々政友會の主張よりか民政に近い人だ。

國會議員、業界を得た
湯本の石川徳三君は選
舉費用は地元の有志を
眞摯で自身にて、ノノ
金二十圓也を出捐した
貴乏な看護での運動で
あるから實際が最もれない。選
舉組織しての新嘉議員の初顔合せ
の時に持參金のあらう管などく院
外園の裏金拾地也に第1回清酒
君のお立替とのこ組しセニシ
かだけは新嘉て英豪等々なるもの
があつたそうちが是れ入山の吉
田所長の酒屋品もあつて是れさて
も慣習には別に關係これなしとの
話だがこの文無無經紀合には恭
毅一君も加入するこみてあらう。

事業と人物欄

忠實専心業務に努力し

名聞を好まず温厚なる

鈴木常雄氏

小田炭礦秋原礦業所に社長業所改め其經營一切が
正八年資本金百萬圓を以て本會計の忠實勤勉なること
創立された小田炭礦當初より會計主任として波瀾萬丈
の渦巻きに思慮周密に意念役としてなくてはならぬ人
の董回に秋原氏とは異體同心である。

新
聞
業
者
吉田禮次郎氏の抱負

吉田禮次郎氏の熱ある此文字

成功したる平町
株主間に紛糾の兆あり
平魚市場の業績

利事業者たるも優越せる新
聲を限りに鳴くほとゝぎ
し一章専心其の職分に向つ假
て進み而して職分の爲め堅法定耐受
其の責任の至重至大なる會
聞の販賣業者たらざるべか
す

未拂配當金
未拂金
前期經費
合計
以上を検討するに收入金額
は五千七圓の経費としてあ
る其の賃給一千七百十
圓に維收入七頭を合計して
三千八百二十圓に對し支出
する時は一と紛糾は免れ
さるものが未拂込株を賣
出金

三〇、五二

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

七九、九九

六九、九九

五九、九九

四九、九九

三九、九九

二九、九九

一九、九九

九九、九九

八九、九九

題話の今

平上水道擴張工事完成

町會議員、新聞記者に

名論卓説を吐いて餘りなし

大和田印刷所の一室にて一記者

半町上水道擴張工事完成に伴ふ感勞金の問題は我磐城之質業社は近く町會議員及有志家の意見を聽取し之を要は今日の處では大體於

半町上水道擴張工事完成に人々にのみとて欲し謂お手盛りの案などから云ふものもある是に對するこのところ全く痛し痒しで

チップ收入も

赤字だらけだ

「やり切れぬ」

口説く彼女等

女給生活裏おもて

(一)

アーチ

無我無中の平消防幹部

お日出度加減にも程こそある

是れ果して誰の責任か

つて見たまひまさか十五

錢が二十錢のローピーにチ

チップを置いて行くものは殆

ねんないだから結局は昂

高められたる店では女給の一日の受

けの場合で一圓かそこへ等

何にも知らない居る平消

防幹部知らんとしても知ら

せられない防幹部諸君

此處に至つて傾覆に至

これで不平がないか

何にも知らない居る平消

防幹部知らんとしても知ら

せられない防幹部諸君

花果町の無

少しあは出しが本たらう

事業にても一部を寄附する

だらうか

乙町議『寄附する位なら始

めから貢はないで辭退する

方が好い譯だし、そんな了

見が有んだらうか……』

乙町議『よそに前例もある

事業は相當に倒壊な問題を

だらう

甲町議『其はいけない前

例があるから平町でも其通

も僕は町理事者が水道工事

にしなければならぬといを完成したといふことは別

事はない筈です、第三小

功勞でも何でもないと思

話には相手になつて居られ

て居りません、然しこの問題を

見て居ります、然しこの問題を

見て居ります、然しこの問題を

見て居ります、然しこの問題を

見て居ります、然しこの問題を

見て居ります、然しこの問題を

見て居ります、然しこの問題を

町の窮民救助が何かの社會

事業にても一部を寄附する

ことだしね』

乙町議『よそに前例もある

の世もあることではない

でせうか』

甲町議『功勞といふけれども好い譯だし、そんな了

見が有んだらうか……』

事は今日の財政を考慮して町長其他に全然やらずと

甲町議『私はまだ何とも考

見が有んだらうか……』

甲町議『寄附する位なら始

めから貢はないで辭退する

方が好い譯だし、そんな了

